### 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	·	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	地域•在宅援助論Ⅲ		必修/選択の	別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時	限	後期	教室名	2年教室
担当教員	戸板 宏一郎	実務経験と その関連資格		<b>姜</b> 舒	ーー がとしての臨床経験	、看護基礎	教育の経験を有す

# 《授業科目における学習内容》

事例を通して療養者の訪問看護過程を展開する。病態と症状、ADLとIADL、社会資源、本人と家族の思いの4つの観点からアセスメント、全体像へと展開することができる。

## 《成績評価の方法と基準》

提出物、筆記試験

#### 《使用教材(教科書)及び参考図書》

地域療養を支えるケア(メディカ出版) 在宅療養を支える技術(メディカ出版)

# 《授業外における学習方法》

自宅での追加学習が必要となります。実習につながるよう、自主的に学習に取り組んでください。

## 《履修に当たっての留意点》

限られた時間内で演習を行います。追加学習をもとに、授業に集中して取り組んでください。

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義演	授業を 通じての 到達目標	訪問事例からの看護過程の展開ができる。①	・テキスト・参考書	履修概要を事前に確認 する。老年看護学等、既 習した内容を確認する。
	習形式	各コマに おける 授業予定	疾患についての基本的な情報を収集し、アセスメントを行う。	/ベハド参布音	
第 2	講義演	適じての 到達目標 お出事例からの看護過程の展開ができる。② 各コマに おける 症状が生活動作、生活自体に与える影響へつながるようにアセ		・テキスト・参考書	履修概要を事前に確認 する。老年看護学等、既 習した内容を確認する。
回	習形式				
第3回	講義演	授業を 通じての 到達目標	訪問事例からの看護過程の展開ができる。③	テキスト・参考書	履修概要を事前に確認 する。老年看護学等、既 習した内容を確認する。
	習形式	各コマに おける 授業予定	病態、症状、生活状況に応じた社会資源についてアセスメント を行うことができる。	ノイ <b>ハド</b> 参与音	
第 4	講義演	授業を 適比ての 到達目標 お問事例からの看護過程の展開ができる。④ 各コマに おける 授業予定 できるようにアセスメントを行うことができる。		・テキスト・参考書	履修概要を事前に確認 する。老年看護学等、既 習した内容を確認する。
<u>4</u> 回	習形式				
第 5 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	訪問事例からの看護過程の展開ができる。⑤	テキスト・参考書	履修概要を事前に確認 する。老年看護学等、既 習した内容を確認する。
	習形式		紙上事例をもとに介護保険制度におけるケアマネジメントの目 的とケアマネジメント過程を学習する	ノイクドの右音	

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6	講義演習	授業を 通じての 到達目標	訪問事例からの看護過程の展開ができる。⑥	テキスト・参考書	履修概要を事前に確認
一用形	習形式	各コマに おける 授業予定	アセスメントした内容、つながりを全体像に整理してまとめること ぶできる。		する。老年看護学等、既 習した内容を確認する。
第 7	講義演	授業を 通じての 到達目標	疾患や状態、状況に応じて、適切な訪問看護を選択することができる。 ①		履修概要を事前に確認 する。老年看護学等、既 習した内容を確認する。
回階	習形式	各コマに おける 授業予定	事例に基づいて必要な訪問看護サービスを考え、社会資源を 選択する。	アベハド 参布音	
第 8 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	疾患や状態、状況に応じて、適切な訪問看護を選択することができる。②	テキスト・参考書	履修概要を事前に確認 する。老年看護学等、既 習した内容を確認する。
	習形式	各コマに おける 授業予定	事例に基づいて必要な訪問看護サービスを考え、社会資源を 選択する。	/ コク  **	